

第1期

福井市まち・ひと・しごと創生総合戦略

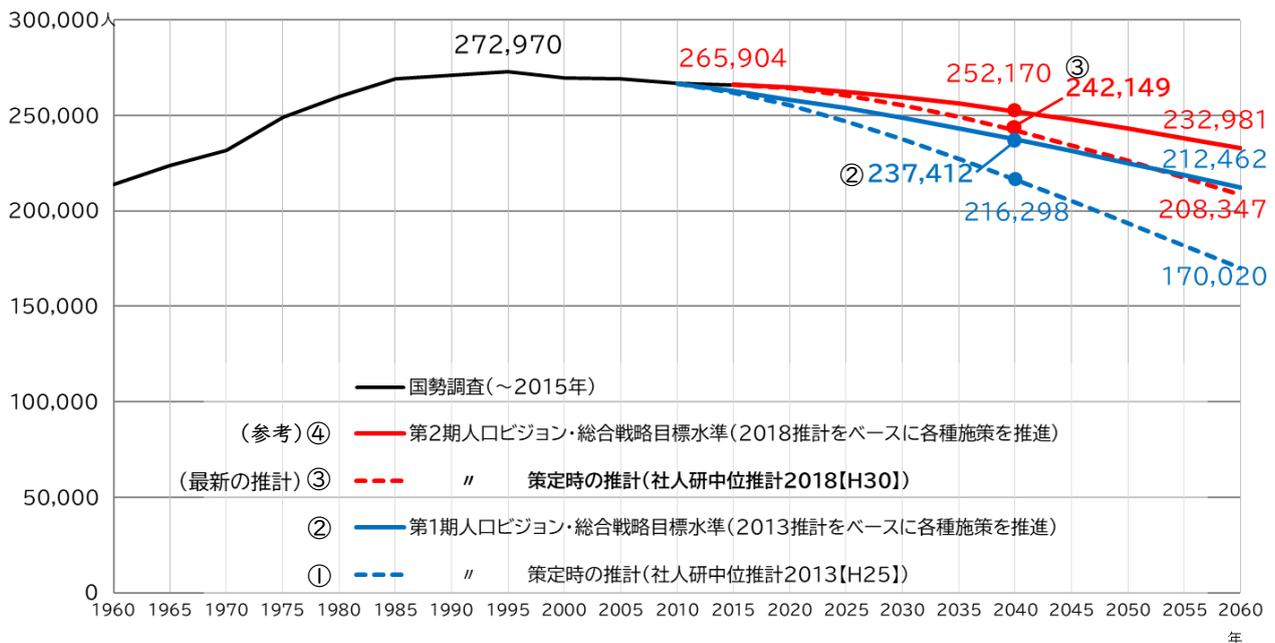
5年間の取組結果概要

(平成27年度～令和元年度)

I 本市人口の長期展望

○本市の将来人口推計

2040年時点の本市の推計人口は、第1期の目標水準 約23万7千人(青実線②)を約5千人上回る24万2千人(赤点線③)程度の見通しとなっており、人口減少の進行度合いは緩和している。



出典：日本の地域別将来人口推計 H25・H30 (国立社会保障・人口問題研究所) 及び本市推計

Ⅱ 第Ⅰ期戦略の主な取組結果

基本目標Ⅰ 福井の産業の強みを活かし、働く場を創出する

【数値目標】5年間で1,000人の新たな就業の場を創出

【結果】1,129人 **達成**

【主な施策の取組概要・成果等】

(1) 繊維王国を支えた福井のものづくりの応援

- 本市の基幹産業である繊維産業の振興を図るため、成長分野での技術応用等に向けた取組を重点的に支援した。



◆テキスタイルマテリアル グローアッププロジェクト
繊維産業の農業分野等での技術応用・新製品開発や、衣料分野での販路拡大・事業承継を支援

(2) ふとこ深く企業立地を推進



企業立地支援事業等による支援

- 企業訪問による情報交換や立地意向の把握、立地企業に対する各種助成（企業立地、研究開発・本社機能立地、空き工場活用、中心市街地オフィス立地等）により企業立地を推進し、立地数は目標を上回った。

(3) 社長輩出日本一の創業支援

- 商工会議所や商工会、金融機関等と連携し、熱意ある創業支援事業補助金や創業支援資金、ビジネスプランコンテスト等による創業支援を実施した。

- 福井県事業承継ネットワークや福井県事業引継ぎ支援センター等と連携しながら、税理士等を対象とした事業承継セミナーを開催するなど、事業承継相談体制の充実を図った。



事業承継セミナー

(4) 若者が夢をもてる農林水産業の経営安定・人材育成

- 「福井市農業活性化プラン」を踏まえ、稲作と園芸を組み合わせた複合経営への転換を図った。また、種苗購入や施設整備への補助等により農業経営基盤の安定化を支援した。

- 森林組合への就業促進や自伐林家への支援、「獲る」漁業から「つくり育てる」漁業への転換などにより、林業水産業の振興と新たな担い手育成を推進した。



◆森林環境譲与税関連事業
森林整備や担い手確保、木材利用の普及啓発等を実施



◆つくり育てる漁業推進事業
サクラマス等の養殖事業の研究、実践等を支援



◆未来へつなぐ 福井の農業・水産業活性化プロジェクト
園芸農業経営基盤の強化や農林水産業従事者の確保、都市部をはじめ市内外での本市特産品の販路開拓などを一体的に展開

(5) おいしい水に育まれた福井の農産物のブランド化

○福井の新たなブランド米いちほまれや、本市特産の金福・銀福すいか、きゃろふく、カーボロネロのほか、新たに特産化を目指すオリーブなどの農産物のブランド化を図るため、生産拡大や品質向上に向けた各種支援、都市部での販路拡大活動等を実施した。



いちほまれ



ふくい「一押し」の逸品」パンフレット

【数値目標・KPI(重要業績評価指標)等の状況】

○新規就業者

商工業、農林水産業あわせて新規就業者数1,000人以上の目標を達成した。

5年間累計目標		令和元年度末累計
企業立地	300人	324人
就業促進	600人	725人
農林水産業	100人	80人
合計	1,000人	1,129人

○基本目標I KPI 最終年度目標値到達 10/13項目(達成率76.9%)

No.	KPI(重要業績評価指標)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	⇒ 目標値(単位)	0% 20% 40% 60% 80% 100%						達成
									0%	20%	40%	60%	80%	100%	
1	ものづくり支援、設備投資、人材育成、新市場開拓、販路開拓に係る中小企業への支援件数(5年間累計)	0	57	110	172	210	231	⇒ 375件	[Progress bar]						
2	新事業の創出件数(5年間累計)	0	2	3	5	6	7	⇒ 6件	[Progress bar]						○
3	企業立地数(5年間累計)	0	6	13	20	37	47	⇒ 17件	[Progress bar]						○
4	創業者数(5年間累計)	0	99	191	267	358	454	⇒ 400件	[Progress bar]						○
5	事業承継相談者数(5年間累計)	0	0	5	10	16	24	⇒ 25件	[Progress bar]						
6	農業法人への就農者数(5年間累計)	0	4	9	11	18	31	⇒ 30人	[Progress bar]						○
7	三里浜砂丘地における新規就農者数(5年間累計)	0	2	2	3	6	7	⇒ 5人	[Progress bar]						○
8	新規就農者数(就農給付金事業活用人数)(5年間累計)	0	3	5	9	13	19	⇒ 25人	[Progress bar]						
9	森林組合の新規就業者数(5年間累計)	0	7	12	20	23	28	⇒ 10人	[Progress bar]						○
10	漁業新規就業者数(5年間累計)	0	1	1	5	6	7	⇒ 5人	[Progress bar]						○
11	新たに6次産業化に取り組む経営体数(5年間累計)	0	5	10	13	17	21	⇒ 20経営体	[Progress bar]						○
12	生産推奨品目作付面積	89	97	117	133.8	137.2	140.4	⇒ 130ha	[Progress bar]						○
13	農産物直売所の売上高	16	16	16	17.2	18.6	21.1	⇒ 21億円	[Progress bar]						○

※バーは RI 実績値/RI 目標値

基本目標2 福井の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる

【数値目標】 転入・転出者数を均衡（H26:転出超過212人）

【結果】 R1:転出超過263人 未達成

【主な施策の取組概要・成果等】

(1) 美しい福井を磨き上げ、内と外の交流拡大

○一乗谷朝倉氏遺跡を活用した様々な観光プロモーションや二次交通の強化を図った。同遺跡の令和元年度の観光客入込数は、平成27年度の北陸新幹線金沢開業時（108万人）に迫る106万人となった。

○平成28年4月のハピリン開業や30年9月の足羽山公園遊園地ハピジャンのオープンなどにより、まちなかのにぎわい創出と交流人口の拡大を図った。



一乗谷朝倉氏遺跡



福井駅西口再開発ビル「ハピリン」



足羽山公園遊園地「ハピジャン」



(2) 福井のよいところ発信プロモーション

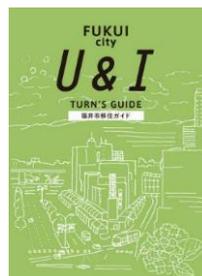
○ウェルカムセンター（福井市観光案内所）で多言語対応の観光案内や手荷物配送サービス等を実施した。観光客案内件数は目標値を上回る水準で年々増加している。

○海外の旅行博でのPRや旅行社等への営業活動、外国語メニューやパンフレット作製支援などの受入環境整備により、海外からの誘客を促進した。

(3) 日本一リッチな福井へ、都会からの移住・定住を徹底支援

○移住促進ガイドブックやホームページ、移住フェア出展等により、福井での暮らしや仕事の魅力を発信した。

○東京圏からの移住支援金、若年女性等 UI ターン補助金などの移住支援メニューの充実を図った。県外からの UI ターン者数は目標値を上回る水準で推移している。



福井市移住ガイドブック
「U&I TURN'S GUIDE」

(4) ふるさとで働こう。人材還流、地元就職の促進

- 学生向けの合同企業説明会・面接会や UI ターンサマーキャンプ、社会人向けの UI ターン就職支援ツアー「週末就活」、保護者向けの個別相談会などを実施して UI ターン就職を促進した。



◆UIターンサマーキャンプ
UI ターン就職者との意見交換会や企業への訪問、経営者等との座談会、アイデアプランコンテストなどを通して大学生の UI ターン就職を促進

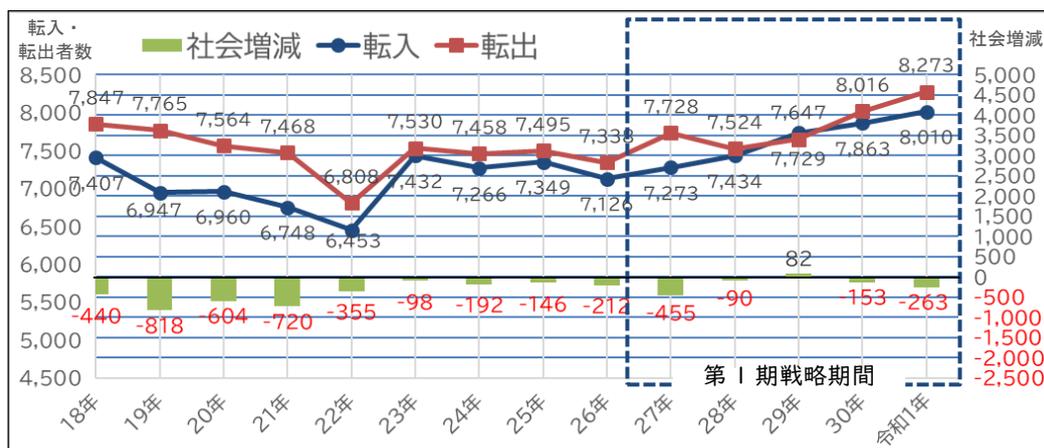
(5) スポーツの祭典オリンピック・国体で地域活性化

- 平成30年に第73回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）、第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）を開催し、「つるつるいっぱいのおもてなし」で歴史、文化、食など本市の魅力を発信した。

【数値目標・KPI(重要業績評価指標)等の状況】

○転入・転出者数の推移

平成26年度以降は、本市への転入者数、転出者数ともに増加傾向にある。なお、転入者数から転出者数を差し引いた転出超過数は縮小傾向にあり、29年度には転入超過に転じた。しかしながら、30年度以降は全国的に人口の東京一極集中が加速化し、本市においても東京圏を中心に都市部への転出者数が増加するなど、再び転出超過の状況となっている。



出典:福井市統計書

○基本目標2 KPI 最終年度目標値到達 10/16項目(達成率62.5%)

##	KPI(重要業績評価指標)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	⇒	目標値(単位)	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
14	一乗谷観光客入込数	69	108	90	80	72	106	⇒	110 万人	[Progress Bar]						
15	まちなか観光客入込数	104	129	157	153	186	193	⇒	140 万人	[Progress Bar]						○
16	ハピリン来場者数	0	-	56	53	51	48	⇒	40 万人	[Progress Bar]						○
17	Wi-Fi利用者数	0	3,677	14,816	19,825	18,594	13,474	⇒	7,300 人/月	[Progress Bar]						○
18	ふくい鮮いちば来場者数(5年間累計)	0	21.9	44.2	65.4	86.4	108.4	⇒	100 万人	[Progress Bar]						○
19	観光案内所の案内件数	38,400	42,300	50,306	53,536	53,540	57,154	⇒	50,000 件	[Progress Bar]						○
20	福井市を訪れて良かったと感じた人の割合(アンケート調査)	85	85	89	92	93	94	⇒	95 %	[Progress Bar]						
21	外国人宿泊者数(市調査)	5,200	10,500	8,400	15,800	22,800	25,400	⇒	16,000 人	[Progress Bar]						○
22	市または県機構への、移住等に係る相談者数(5年間累計)	0	4,559	10,275	17,033	23,791	30,911	⇒	30,000 人	[Progress Bar]						○
23	本市への移住者数	151	142	274	355	334	266	⇒	200 人	[Progress Bar]						○
24	学生向け事業参加者の市内企業への就職者数(5年間累計)	0	0	3	33	69	100	⇒	120 人	[Progress Bar]						
25	社会人向け事業利用者の市内企業への就職者数(5年間累計)	0	3	13	32	59	83	⇒	180 人	[Progress Bar]						
26	全小中学校での職場体験の実施	73	73	73	73	73	73	⇒	73 校	[Progress Bar]						○
27	「福井市民の誇りガイド」の発行	0	0	未発行	発行	発行	発行	⇒	発行	[Progress Bar]						○
28	全国・ブロック大会開催等支援数	3	3	5	5	1	1	⇒	5 大会	[Progress Bar]						
29	福井国際・障害者スポーツ大会への県外からの参加者数(大会中の累計)	0	-	-	-	47,500	-	⇒	50,000 人	[Progress Bar]						

基本目標3 福井の優れた環境で結婚、出産、子育ての希望をかなえる

【数値目標】 合計特殊出生率 全国トップクラスの維持 (H20~24 平均:1.65)

【現 況】 H25~29平均:1.65 県庁所在地別全国4位 **達成**

【主な施策の取組概要・成果等】

(1) 若者の希望がかなう結婚・妊娠・出産の支援

○若者の未婚化・晩婚化に歯止めをかけるため、真剣に結婚を希望する男女を対象に婚活講座や婚活イベント等を実施し、KPIは目標を大きく上回った。

○母子保健の拠点となる妊娠・子育てサポートセンター「ふくっこ」を平成31年4月に開設し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実を図った。



◆ふくっこ(妊娠・子育て)支援事業
健康管理センターに母子保健の拠点となる妊娠・子育てサポートセンター「ふくっこ」を開設

(2) 住むなら福井。日本一の子育て環境の充実

○幼稚園、保育園の認定こども園化の推進や、児童クラブの定員拡充等を進め、待機児童ゼロ、放課後児童クラブの完全受入など、子育て環境の維持、向上を図った。



◆子ども・子育て支援事業
保育園等の運営や一時預かり事業、幼児教育・保育無償化などにより、安心して子育てができる環境を整備



◆放課後児童健全育成事業
児童クラブ等を運営し、放課後留守家庭児童の健全な育成と保護者が安心して働ける環境を確保

○地域のニーズに応じた子育て講座・孫育て講座の開催、市内12か所の地域子育て支援センターでの子育て相談会の開催などにより、地域全体での子育てサポート体制の充実を図った。

(3) 子どもの明るい未来のために、全国トップクラスの教育環境づくり

○一人ひとりの子どもの育ちを支えていくため、家庭、地域、学校のつながりを強めながら、三者が一体となって子どもたちの教育について考え、行動する気運の醸成を図った。

○グローバル化と情報化に対応できる子どもの育成を図るため、英語教育や情報通信技術を活用した教育を推進した。



ALT(外国語指導助手)による英語活動

(4) 女性・若者の活躍をしっかりと応援

○高校生や大学生に対してライフデザイン出前講座を実施し、自身の将来設計や、福井での就労、結婚、子育て意識の向上を図った。



◆輝く女性の未来予想図事業

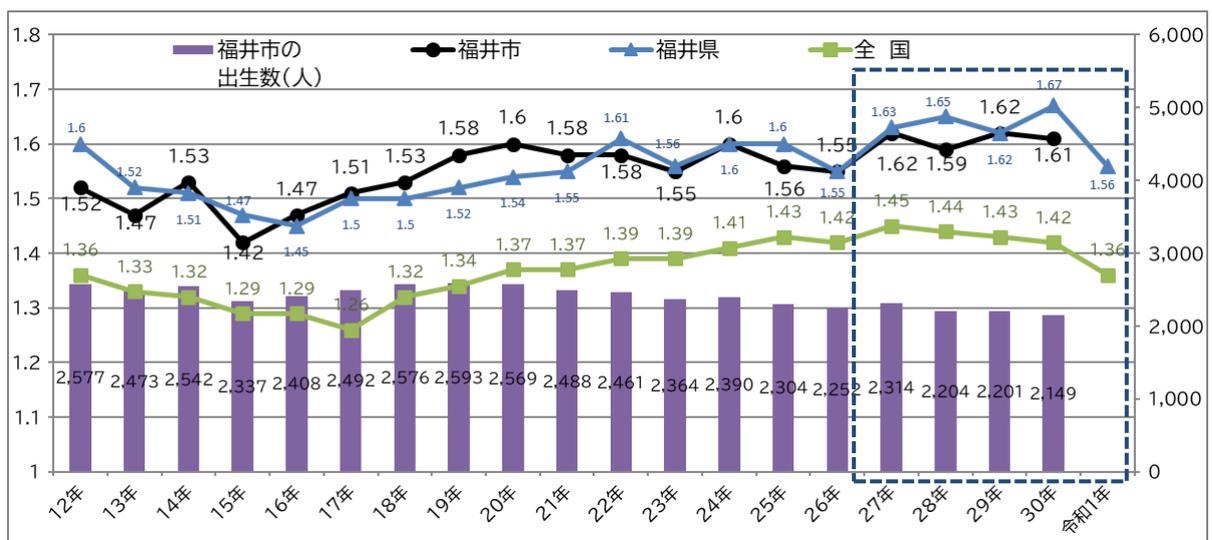
あらゆる分野での女性の活躍と仕事と生活の調和を推進するため、女性や男性、企業への意識啓発等を実施

○経営者や人事担当者を対象としたセミナーや研究会等を開催し、企業における女性の更なる活躍促進に向けた意識啓発等を実施した。

【数値目標・KPI(重要業績評価指標)等の状況】

○合計特殊出生率の推移

第1期戦略期間中の全国平均の合計特殊出生率が低下傾向にある中、本市は全国上位の水準を維持している。



出典:人口動態統計(厚生労働省)、人口動態統計(福井県)及び市独自推計

○基本目標3 KPI 最終年度目標値到達 6/12項目(達成率50%)

**	KPI(重要業績評価指標)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	⇒	目標値 (単位)	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
30	婚活イベントによるカップルの成立数(5年間累計)	0	19	46	75	106	143	⇒	100組	[Progress bar]						○
31	子育て環境・支援に対する満足度(アンケート調査)	80.3	-	-	85.6	78.6	-	⇒	90%	[Progress bar]						
32	待機児童ゼロの維持	0	0	0	0	0	0	⇒	0人	[Progress bar]						○
33	放課後児童クラブ入会希望者の完全受入	100	100	100	100	100	100	⇒	100%	[Progress bar]						○
34	地域子育て支援拠点施設数	11	12	12	12	12	12	⇒	13か所	[Progress bar]						
35	子育てを楽しんでいる人の割合(アンケート調査)	67.5	-	-	71.7	65.1	-	⇒	80%	[Progress bar]						
36	藤田良雄賞応募者数	0	-	-	-	-	-	⇒	100人	[Progress bar]						
37	セーレンプラネット入館者数	0	-	126,350	95,126	107,047	91,952	⇒	100,000人	[Progress bar]						
38	女性向け就職セミナー受講者のうち就職者数(5年間累計)	0	2	11	27	41	52	⇒	40人	[Progress bar]						○
39	交流イベント等において講演等を行う福井の輝く女性の数(5年間累計)	0	16	60	74	84	98	⇒	30人	[Progress bar]						○
40	ワーク・ライフ・バランス事業による支援企業数(5年間累計)	0	5	27	62	116	176	⇒	100社	[Progress bar]						○
41	若者のキャリア形成支援による正規雇用者数(5年間累計)	0	71	116	205	287	387	⇒	500人	[Progress bar]						

※バーは R1 実績値/R1 目標値

基本目標4 県都として中心的役割を担うとともに、時代に合った住みやすいまちを創造する

【数値目標】 福井市に住み続けたいと思う市民の割合 90% (H27:88%)

【現 況】 87.0% (R2 年度調査値) **未達成**

【主な施策の取組概要・成果等】

- (1) 中核市へ移行し、圏域全体の発展を牽引
○平成31年4月に中核市に移行するとともに、周辺市町との連携中枢都市圏を形成した。



嶺北11市町によるふくい嶺北連携中枢都市圏 連携協約締結式 (平成31年4月1日)

- 東京都内を中心とした首都圏の飲食店舗において、連携中枢都市圏域の農林水産物を使ったメニューや地酒などを提供する「越前福井GO宴フェア」を開催し、地場産品の販路拡大・開拓につなげた。



◆越前福井GO宴フェア
首都圏の飲食店105店舗で、いちほまれやコシヒカリ、越前がに、若狭牛、油あげなどを使ったメニューや地酒を提供 (令和元年11月1日~30日)

- (2) 福井市は県都。県都にふさわしい風格あるまちづくり

- 北陸新幹線の福井開業や建物の更新時期を捉え、都市基盤の再整備や民間が主体となった市街地再開発事業等への支援を実施した。



◆駅前電車通り北地区A街区再開発イメージ
(提供:駅前電車通り北地区A街区市街地再開発組合)



◆中央公園再整備事業
福井城址との一体性を高め、歴史が感じられるとともに、緑が多く開放的な公園として再整備が完了

- (3) 住み続けたい福井市づくりで、生活圏を維持、まちの活力向上

- 地域鉄道や路線バス、乗合タクシー、地域コミュニティバスなど、多様な交通手段を交えた全域交通ネットワーク網の整備、充実を図った。公共交通機関利用者数は目標値を上回る水準で推移している。



◆鉄道維持・活性化支援事業
えちぜん鉄道、福井鉄道の経営安定化や活性化を支援



◆バス交通維持・活性化支援事業
地方バス路線の運行維持や交通空白地域における交通サービスの確保に向けた地域コミュニティバスの運行を支援

- 農業や地域資源を活かした里地・里山地域の活性化、地域おこし協力隊による地域ブランドや地場産品の開発・PRなどを通じて、中山間地域等の維持・再生や若者の定住を推進した。



地域おこし協力隊による地域活性化支援

(4) はじめる、つながる、ひろがる、市民のまちづくり

- 地域住民が主体となり、地域の課題解決や各地区相互の連携による広域的なまちづくりを推進した。



◆地域の未来づくり推進事業
地域の特色と知恵を活かした
まちづくり事業を支援

【数値目標・KPI(重要業績評価指標)等の状況】

- 「福井市に住み続けたい」と思う市民の割合の推移
平成27年度の調査開始以降、高水準を維持している。

5年間累計目標	調査結果
平成27年度	88.0%
平成28年度	89.4%
平成29年度	88.5%
平成30年度	87.2%
令和2年度	87.0%

出典:福井市民意識調査

○基本目標4 KPI 最終年度目標値到達 7/10項目(達成率70%)

№	KPI(重要業績評価指標)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	⇒	目標値(単位)	0% 20% 40% 60% 80% 100%						
										協約締結	協約締結	Progress bar				
42	連携中枢都市圏の形成	-	-	-	-	-	協約締結	⇒	協約締結	Progress bar						○
43	優良建築物等整備件数(5年間累計)	0	0	0	0	1	1	⇒	2件	Progress bar						
44	景観づくり整備箇所数(5年間累計)	0	2	2	4	5	5	⇒	5か所	Progress bar						○
45	まちなか居住支援件数(5年間累計)	0	14	21	32	45	52	⇒	60件	Progress bar						
46	高齢者向け住宅新規整備数のうち、まちなか地区での整備割合(5年間)	0	0	28.6	28.6	17.4	17.4	⇒	30%	Progress bar						
47	公共交通機関利用者数	821	840	859	870	877	852	⇒	833万人	Progress bar						○
48	立地適正化計画の策定	-	-	-	-	策定	策定・公表	⇒	策定	Progress bar						○
49	里地・里山・里海活性化事業による支援集落数又は地区数	0	0	4	7	10	14	⇒	5か所	Progress bar						○
50	地域おこし協力隊の人数(5年間累計)	0	2	3	4	5	6	⇒	5人	Progress bar						○
51	ボランティア活動相談件数(5年間累計)	0	30	384	825	1,286	1,757	⇒	1,500人	Progress bar						○

※バーはR1実績値/R1目標値

Ⅲ 第1期の実施結果(再掲)および第2期の方向性

基本目標1 福井の産業の強みを活かし、働く場を創出する

【数値目標】 5年間で1,000人の新たな就業の場を創出

目標

(H27~R1 累計)
1,000人



結果

(H27~R1 累計)
1,129人 (達成)

[内訳] 企業立地324人、就業促進725人、農林水産業 80人

基本目標2 福井の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる

【数値目標】 転入・転出者数を均衡 (H26:転出超過212人)

目標

(H26) (R1)
転出超過212人 ⇒ ±0人



結果

(R1)
転出超過263人 (未達成)

[参考] 5年平均での転入者数-転出者数の推移
:(H22~H26)▲201人→(H27~R1)▲176人

基本目標3 福井の優れた環境で、結婚、出産、子育ての希望をかなえる

【数値目標】 合計特殊出生率 全国トップクラスの維持 (H20~24 平均:1.65)

目標

(H20~24 平均)
1.65 の水準を維持



結果

(H25~29平均)
1.65 (達成)

基本目標4 県都として中心的役割を担うとともに、時代に合った住みやすいまちを創造する

【数値目標】 福井市に住み続けたいと思う市民の割合 90% (H27:88%)

目標

(H27) (R2)
88% ⇒ 90%



結果

(R2)
87% (未達成)

【参考】

OKPI 100%以上達成 33/51項目 (達成率64.7%)

90%以上達成 38/51項目 (74.5%)

80%以上 " 43/51項目 (78.4%)

○基本目標1

各施策のKPI達成率は76.9%となり、数値目標も達成した。特に、企業立地及び就業促進の分野で目標を上回り、働く場の創出につながった。

第2期では、引き続き、繊維や化学等の基幹産業、ICTや航空宇宙関連の成長産業等を中心に企業誘致に取り組むとともに、地域経済を牽引する中核企業の育成や熱意ある若者の夢を応援する創業支援、新製品・新技術の開発支援等を推進し産業振興につなげる。

あわせて、スマート農業の推進や農林水産物のブランド力の強化等により、稼げる農林水産産業の実現を図り、新たな就業の場の創出を目指していく。

○基本目標2

KPI達成率は62.5%で、数値目標は未達成となった。特に、平成30年度から令和元年度にかけて、就職がきっかけと考えられる若年層の大都市圏への転出超過が拡大傾向にあり、全国的に見ても東京圏への人口一極集中が進む状況となった。

一方で、国が実施した調査によると、新型コロナウイルス感染症の影響下で東京圏在住者の地方移住への関心が高まっている状況も見られる。

こうした状況を踏まえ、第2期では、まず、北陸新幹線福井開業に向けたプロモーションを強化し、さらなる認知度の向上を図っていく。あわせて、移住相談体制や移住支援施策を拡充するとともに、地域活性化や将来的な移住につなげるために関係人口の創出・拡大を図っていく。

○基本目標3

KPI達成率は50%で、合計特殊出生率全国トップクラスの維持は達成した。

第2期では、本市の強みである子育て・教育環境のよさを活かしながら、自然動態の視点での課題となっている若い世代の男女が知り合うきっかけづくりや、多子世帯に対する経済的な支援、ワークライフバランスの改善など広範な取組を着実に進め、合計特殊出生率の向上を目指していく。

○基本目標4

KPI達成率は70%で、数値目標は未達成であった。

本市は、県都として都市機能や社会インフラが整っており、住みよい都市として全国的に高い評価を受けている。また、海や山、川などの自然に囲まれ、豊かな食にも恵まれている。今後こうした強みや魅力を活かしながら、住みよさの底上げを図っていく必要がある。

ただし、第2期戦略策定にあたり実施したアンケート調査では、保護者、子どもに5年前に比べて県外での就職を希望する割合が増える傾向となった。これは、福井の様々な企業や働き方に関する情報を十分に伝えきれていない可能性があることから、地元企業について知ることができる機会の充実を図っていく必要がある。また、地元の中高生が継続的に地域行事や活動に関わる機会を設けることで、福井への愛着や誇りを醸成していくことも重要である。

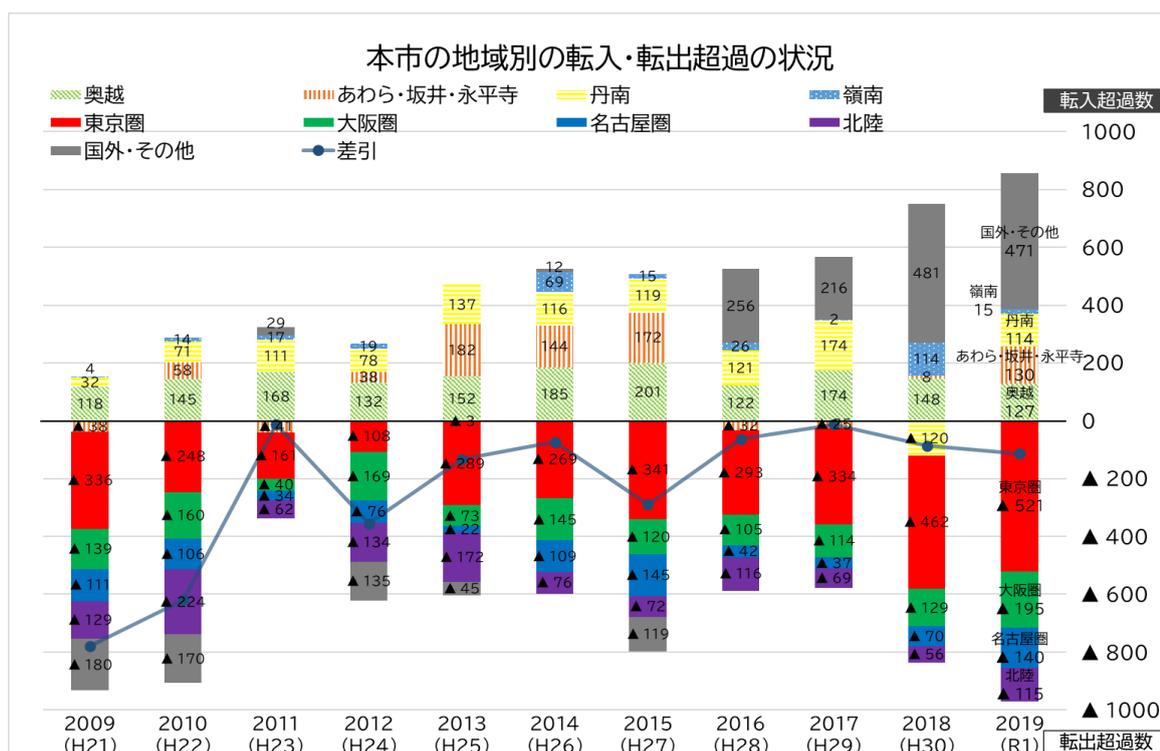
IV 人口動態の参考資料

(1) 地域別の転入・転出超過の状況

○全国的に人口の東京一極集中が加速化している中、本市においても東京圏への転出超過が拡大傾向にある。また、大阪圏や名古屋圏への転出超過のボリュームも大きい。

○本市人口の社会動態は中長期的には改善傾向にあるが、これは県内からの人口流入の影響によるところが大きい。引き続き、県外への転出超過の改善に向けた取組を進め、周辺市町を含む圏域全体の人口減少の抑制に向けて取り組む必要がある。

○また、近年は特に国外からの転入超過が拡大している。

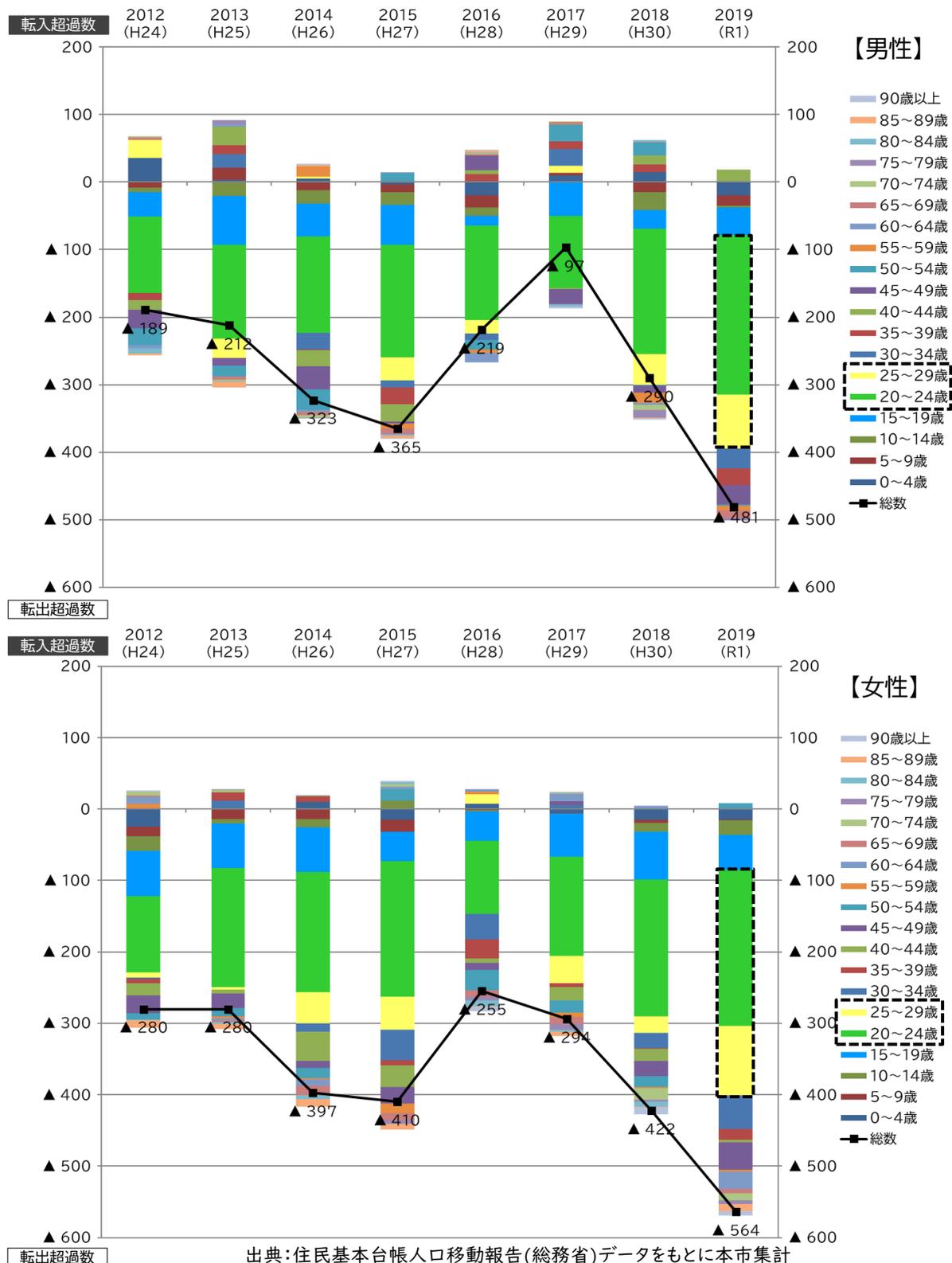


(※奥越：大野市、勝山市 あわら・坂井・永平寺：あわら市、坂井市、永平寺町 丹南：鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町
 嶺南：敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町 東京圏：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
 大阪圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県 名古屋圏：愛知県、岐阜県、三重県 北陸：富山県、石川県)

出典：福井県の推計人口(福井県)

(2) 県外との転入・転出超過数の推移(男女別・年齢別)

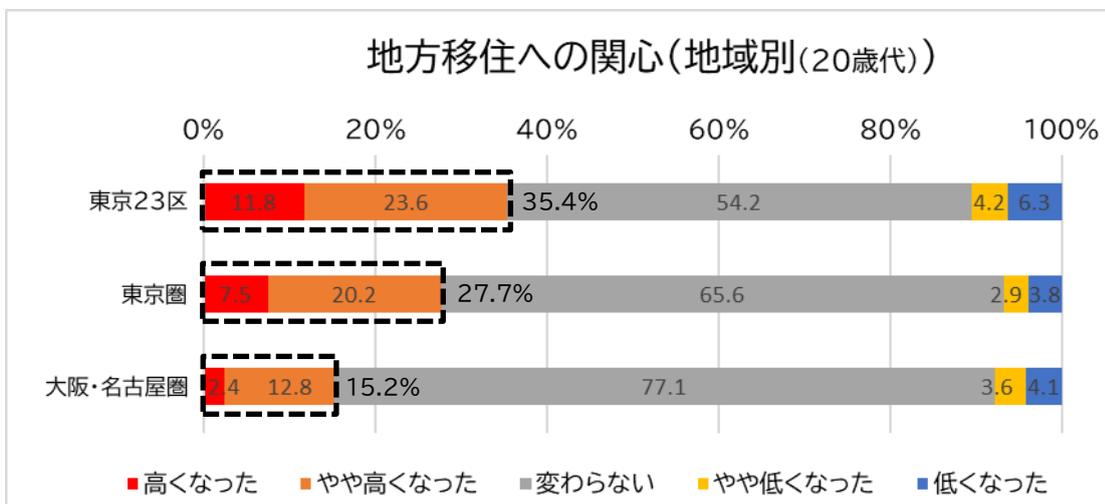
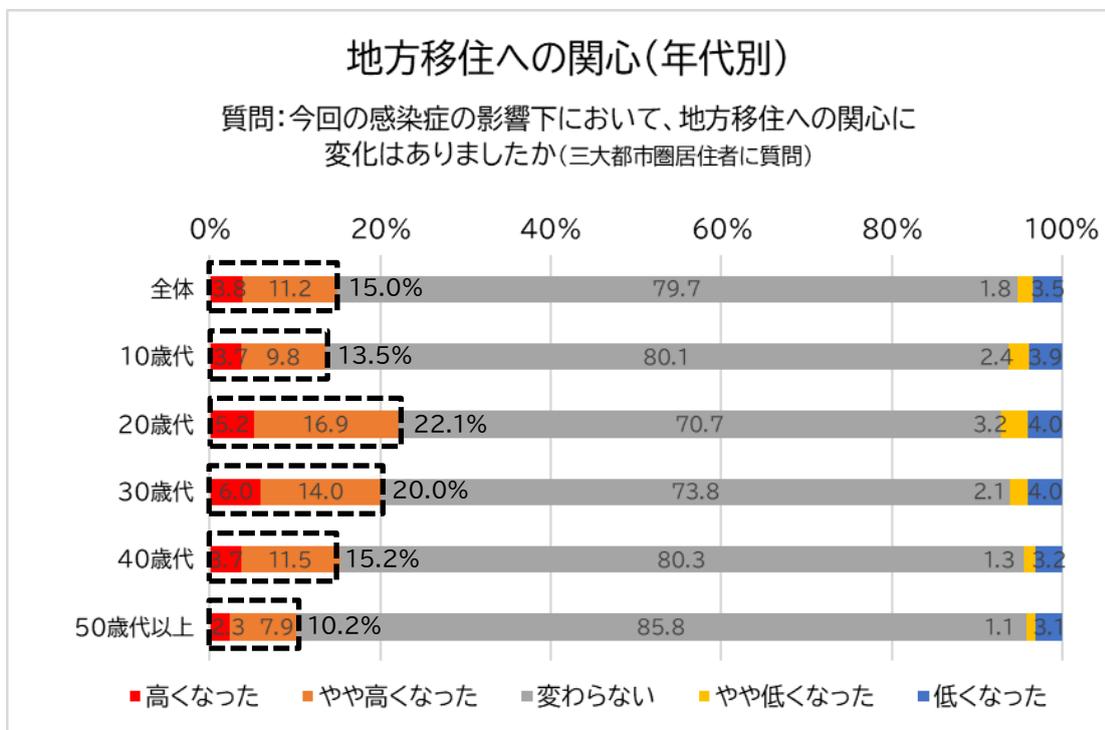
○本市から県外への転出超過については、特に就職がきっかけと考えられる20～24歳、25～29歳の若年層が大半を占めている。また、男性より女性の転出超過が大きい傾向も続いている。



(3) 地方移住に対する関心の変化

○内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が令和2年1月に実施したインターネット調査によると、東京圏在住者（20～59歳）の49.8%が「地方暮らし」に関心を持っていること、地方圏出身の方が東京圏出身者よりも関心が高いこと、全体的に若者のほうが関心を持っているなどの結果となった。（参照：移住等の増加に向けた広報戦略の立案・実施のための調査事業（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局））

○また、内閣府が令和2年5～6月に実施したインターネット調査によると、新型コロナウイルス感染症の影響下において、年代別では20歳代、地域別では東京23区在住者を中心に地方移住への関心が高まっている結果となった。



出典：新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査（内閣府）

V 地方創生に関する支援制度と活用状況

【地方創生推進交付金】

○制度概要

年度上限額：170,000 千円／（国費 85,000 千円、補助率2分の1）

対象事業：地方版総合戦略に基づく、地方自治体の自主的・主体的で先導的な事業

○本市の活用状況（市単独事業）

（1）地域のものづくり技術×都市のデザインから生まれるイノベーション人材創造事業
（未来につなぐ ふくい魅える化プロジェクト）

事業概要 都市圏のクリエイティブな人材を本市に呼び込み、市内企業の人材とともに本市の新たな魅力や価値を創造し、本市の認知度の向上を図ることで、都市圏から本市への持続的な人の流れをつくる。

事業年度 平成29年度～令和元年度

※令和2年度から後継事業として「関係人口の創出拡大と移住定住へのステップアップ事業」を実施

KPIの達成状況

KPI項目	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①本市への移住者数（H28年度移住者数274人からの増加分）	30人	81人 (355人)	40人	60人 (334人)	40人	▲8人 (266人)
②事業創造プログラムによる創業件数	1件	2件	2件	3件	4件	4件
③プログラムによる起業・事業化への投資等の額	1,000千円	1,619千円	2,000千円	3,400千円	3,000千円	2,040千円



事業創造プログラム「XSCHOOL」



東京発表会

(2) テキスタイルマテリアル・グローアッププロジェクト

事業概要 本市の基幹産業である繊維産業のステップアップを図るため、市場拡大が期待できる成長分野である農業（園芸）分野での技術応用を目指すとともに、衣料分野の海外への販路拡大の取組を支援する。

事業年度 平成 29 年度～令和元年度

※令和2年度から後継事業として「繊維王国ふくい」の復活を目指し「繊維」×「SDGs」×「観光」が織りなすテキスタイルイノベーションプロジェクト」を実施

KPI の達成状況

KPI項目	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①市内繊維工業の製造品出荷額（増加額）	0千円	0千円	7,679千円	8,841,580千円	15,358千円	8,410,680千円
②農業（園芸）分野への展開による新製品開発	0件	0件	0件	0件	2件	2件
③国内外のアパレルメーカーと市内企業の契約件数	0件	0件	5件	12件	7件	14件



園芸分野での技術応用
(防草シート)



園芸分野での技術応用
(寒冷紗)

(3) 三里浜砂丘地の産地再生から始まる 若者が希望を持って就業できる農業の実現

プロジェクト（未来へつなぐ 福井の農業活性化プロジェクト）

事業概要 三里浜砂丘地の園芸農業を推進するため、販路拡大に向けた生産体制の確立や遊休農地の再生、人材育成や新規就農者の受入れ、大消費地に向けた戦略的販路拡大による製品のブランド化などを一体的に実施し、地域の稼ぐ力の向上と、新規就農者の確保など継続的な好循環につなげる。

事業年度 平成28年度～30年度

※令和元年度から後継事業として「ふくいブランドと越前海岸の魅力による稼ぐ農業・漁業実現プロジェクト」を実施

KPI の達成状況

KPI項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
「増加分」が指標						
三里浜砂丘地における地域ブランド品の販売額 (H27年度販売額66,190千円からの増加額)	9,000	△9,803	20,000	34,703	40,000	36,530
園芸に取り組む経営体（担い手）数	9	3	12	25	13	39
新規就農者数	5	5	5	11	5	21
三里浜砂丘地生産者の販路開拓イベント出展回数	0	0	3	3	5	5



新規就農者発掘イベント出展



金福すいか等のブランディング推進



【地方創生拠点整備交付金】

○制度概要

年度上限額：1,000,000 千円／（国費 500,000 千円、補助率2分の1）

対象事業：地方版総合戦略に基づく、地方創生の充実・強化に向けて、効果の発現が高い施設等の整備に係る事業

○本市の活用状況

（1）全天候型まちなかふれあい動物王国整備事業

事業概要 足羽山公園遊園地「ハピジャン」建設

事業年度 平成29年度～平成30年度



KPIの達成状況

KPI項目	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①足羽山公園遊園地の入場者数	120,000人	92,606人	130,000人	51,801人	140,000人	122,134人
②中心市街地の商店年間商品販売額	26,000百万円	-	27,000百万円	-	28,000百万円	R3年3月頃測定予定
③中心市街地の歩行者等通行量（平日・休日平均）	30,002人	32,331人	33,002人	35,289人	36,002人	35,780人

【企業版ふるさと納税】

○制度概要

- ・ 本社所在地以外の自治体の地方創生プロジェクトに企業が寄付（10万円以上）した場合に税額控除の特例が適用される制度（令和2年税制改正により、税額軽減効果が従来の約6割→約9割に拡大）

（税控除のイメージ）



○本市の活用状況

(1) ～若者から始まる地域再生～ ふくい未来人材U・Iターンプロジェクト

- ・寄附企業 株式会社ユニテックス(神奈川県)
- ・事業費 6,534千円(H29~R1)
- ・寄附額 6,000千円(//)
- ・概要 県内外の大学生を対象としたUIターンサマーキャンプ事業(市内企業訪問、企業経営者等との座談会、アイデアプランコンテストなど)への支援



UIターンサマーキャンプ

(2) 地域で取り組む未来人材育成プロジェクト

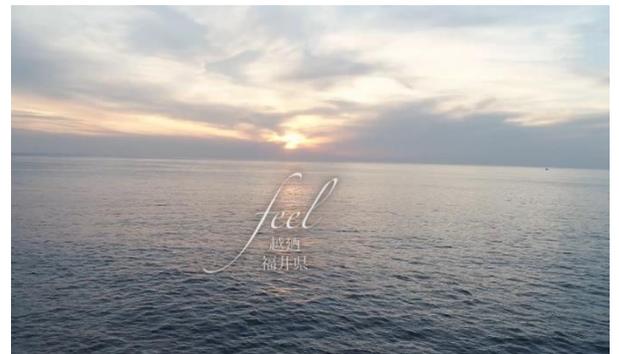
- ・寄附企業 株式会社ニルソフトウェア(東京都)
- ・事業費 814千円(H30~R1)
- ・寄附額 814千円(//)
- ・概要 市内全小学校で推進するプログラミング教育に必要な教育用教材の購入等の支援

(3) 足羽山魅力向上プロジェクト

- ・寄附企業 非公表
- ・事業費 27,279千円(H30)
- ・寄附額 1,000千円(//)
- ・概要 ふれあい動物舎の整備にあわせて行う芝生広場整備事業への支援

(4) 「越前海岸」体験・体感観光推進事業

- ・寄附企業 株式会社 寿幸(大阪府)
- ・事業費 2,000千円(H30~R1)
- ・寄附額 2,000千円(//)
- ・概要 越前海岸(越廼地区)ならではの地域資源を発信するための動画制作等への支援



作成動画「feel 越廼 福井」

(5) 外国人観光客受入環境整備事業

- ・寄附企業 株式会社トマック(東京都)
- ・事業費 142千円(H30)
- ・寄附額 100千円
- ・概要 外国人観光客の受入環境整備のため、観光施設の多言語表記メニュー作成等を支援